

2021年5月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

5月の「生活自由度」は53.3点に減少し、昨年5月に次ぐ2番目の低さに不安も行動の抑制も再び強まる

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2021年5月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は5月6~10日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査実施前の状況】4月の初~中旬に、まん延防止等重点措置の適用地域が拡大(大阪、兵庫、宮城に、東京、京都、沖縄、埼玉、千葉、神奈川、愛知が追加)。特に大阪の感染者増と医療体制ひっ迫の報道が続く中、4月25日には東京、大阪、兵庫、京都に3度目の緊急事態宣言が発出。4月30日以降、重症者は連日千人超えに。5月7日には、4都府県の緊急事態宣言の延長(5月末まで)、5県が対象のまん延防止等重点措置の期間継続と、北海道、岐阜、三重への適用拡大(宮城は解除)。今月も慌ただしい動きの中での調査です。

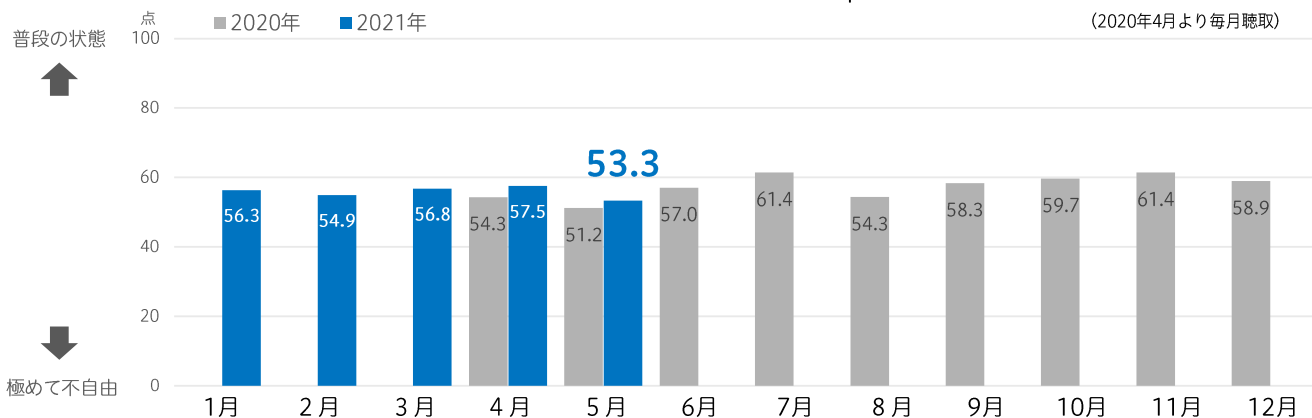
新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2021年5月は、53.3点

前月差
-4.2pt

前年同月差
+2.1pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2021年5月は53.3点となりました。前月より4.2pt減少し、これまで最も低かった昨年5月の調査(第1次緊急事態宣言下で実施した51.2点)に次ぐ2番目の低さですが、昨年5月よりは2.1pt高くなっています。



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は全項目で前月より増加。「行政の対応」(82.3%、6.2pt増)への不安が目立ちます。【行動の抑制度】も全項目で前月より増加。「不要不急の買い物」(77.6%、6.7pt増)、「人とのボディタッチ」「外食」(共に5.6pt増)への抑制が続きます。【行動の実施度】は「家の中でできる娯楽」(77.1%、9.2pt増)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(68.8%、7.5pt増)の実施などが目立っています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	行政の対応	82.3%	+ 6.2pt	+ 1.2pt
	情報の不足や不確かさ	67.1%	+ 4.2pt	- 10.8pt
	経済の停滞	81.3%	+ 4.0pt	- 8.9pt
【行動の抑制度】 控えている行動	不要不急の買い物	77.6%	+ 6.7pt	- 13.0pt
	人とのボディタッチ	85.7%	+ 5.6pt	(聴取なし)
	外食	80.5%	+ 5.6pt	- 10.5pt
【行動の実施度】 行っている行動	家の中でできる娯楽	77.1%	+ 9.2pt	- 9.8pt
	混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	68.8%	+ 7.5pt	(聴取なし)
	インターネット通販や出前の利用	52.1%	+ 6.4pt	- 7.4pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

5月の生活自由度は53.3点。前月より4.2pt減少し、昨年5月に次ぐ2番目の低さに

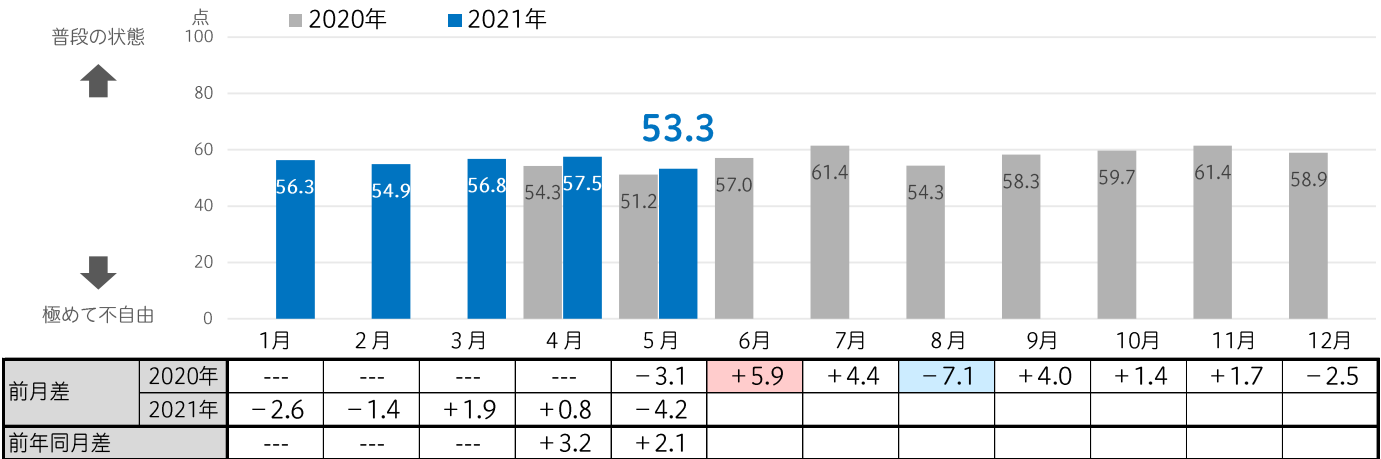
今回の調査は、感染状況悪化の報道や政府の施策対応が相次ぐ(まん延防止等重点措置の適用や拡大、そして東京、大阪、兵庫、京都への3度目の緊急事態宣言の発出に至る)中での実施となり、生活者の生活自由度の低下に影響していると考えられます。これまで最も低かったのは、第1次緊急事態宣言下で実施した昨年5月の51.2点。今回はそれに次ぐ低い点数ですが、昨年よりは2.1pt高くなっています。

自由回答には、「いつまで続くのか」「宣言と解除の繰り返しの恐怖」「行政不信」…不安と不満混じりの意見が多数

生活自由度が高い人からは、「マイナスもあるがプラスもある」「時間の有効活用」「能動的な学習をする」など、ポジティブな視点がみられました。生活自由度が中程度の人からは、「不自由な生活はいつまで続くか」「予防接種はいつか」といった不安や行政への不信の声があります。自分はともかく「子供がかわいそう」との声は、生活自由度の大小に関わらずみられます。生活自由度が低い人からは、「法事ができぬまま」「在宅できない仕事で収入も減、外食もできないし疲れた」「国民に自粛をさせつつ五輪を強行しようとする政府への不信」「緊急事態宣言の発令・解除の繰り返しが基礎疾患を持つ人間には恐怖」などの切実な声。この他にも「あれもダメ、これもダメ…」と制限への不満、不安と怒りを列挙する回答が目立ちました。

生活自由度

(単位：点 / 差分：pt)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

生活自由度の理由(一部抜粋)

生活自由度	理由	点	属性
高 (61点以上)	テレワークや外出自粛で、会社の同僚や友達と接する機会が減り、旅行や帰省もできなくなったのはマイナス要因ですが、通勤時間やストレスから解放されたプラス要因もあり、暮らしの状態はそれほど悪く感じていません。	90点	54歳男性・千葉県
	公共交通機関での移動や、飲食を伴う交際には制限を受けているが、反面移動時間や交際にあてる時間が大幅に減り、時間を有効活用できるので、大きな不自由は感じていない。	80点	46歳男性・大阪府
	仕事はリモート推奨ですが、職場へ行っても何か言われることもなく普段通りの生活を送れている。ただ近所の目があり実家へは行くことができない。親からもワクチン打ってから会おう、と言われてる。	80点	37歳女性・埼玉県
	接触を減らそうと、親戚の家、児童館、レジャー、行楽施設へは出掛けず。家の周りをぐるぐる散歩して、人が少ない公園に行く。子供は外に行きたいが私はそこまで強いられることはない。コロナ感染については、行政が悪い訳ではなく自然に起きていることなので、自らが行動すべき。誰かに強いられる、人のせいにする、ずっと自粛してやってくるのに効果がどう、とか言うのはおかしいと思う。	70点	36歳女性・大阪府
	自分は大学生だが、授業がオンラインになり、より能動的に学習することが求められるようになったから。	65点	21歳男性・愛知県
中 (41~60点)	不自由な生活を強いられているが、この状態がいつまで続くか不安である。	60点	65歳男性・大阪府
	周りに感染者がおらず、あまりびくびくはしていないが、予防接種もいつになるかわからないので、外出時は気を遣う。	60点	62歳女性・愛知県
	余暇の楽しみは完全に窮屈になりましたね。行政の信頼性も半分以下になりました。	50点	51歳男性・千葉県
	そこまで生活を変えずに過ごせているが、娘にはもっと積極的にいろいろな経験をさせたいと思う。	50点	35歳女性・東京都
	収入減額はほぼなかったが、小さい子供がいるので、遊びに連れて行けない、友達とも遊ばせられない。子供に不自由をさせていることの苦しさから、この点数にしました。	50点	43歳女性・大阪府
低 (40点以下)	昨年身内が亡くなりましたが、葬儀では来ていただく人数を制限せざるをえませんでした。その後の法事もできないままです。また、人と会うことも避けており、仕事も延期になったり、収入にも影響があります。	40点	52歳男性・東京都
	在宅勤務できる仕事ではなく、満員電車にのり、不特定多数の接客をし、それでも客足は減っていて、収入も減り、疲れて帰っても、外食はできないし、夕飯作りで…もう疲れました。	30点	40歳女性・愛知県
	国民に自粛をお願いしながらオリンピックを強行しようとしている政府は全く信頼できません。自分の身は自分で守らなくてはならず、情報の吟味や様々な対策に神経をすり減らしています。目に見えないものなので不安が大きいです。	15点	24歳女性・東京都
	やはり非常に不便だし、基礎疾患があるので、何度も解除、発令、解除、発令…と繰り返されると、余計に感染防止対策をとる人が減っていくと思われるので、私たちのように基礎疾患持ちには恐怖心が蓄積されていく。	15点	51歳男性・兵庫県
	今まで通っていたジムもダメ、屋外でも飲酒もカラオケもダメ、大型ショッピングモールもダメ、スーパー、コンビニ以外行くなという感じなので、きわめて低い点数となります。	10点	31歳女性・大阪府

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】 全項目で前月より増加。「行政の対応」(82.3%、6.2pt増)、「情報の不足や不確かさ」(67.1%、4.2pt増)、「経済の停滞」(81.3%、4.0pt増) 前年同月との比較では、昨年春より減少した項目が多い中、「人づきあいの変化」(3.2pt増)や「行政の対応」(1.2pt増)への不安は微増しています。

【行動の抑制度】 全項目で前月より増加。「不要不急の買い物」(77.6%、6.7pt増)、「人とのボディタッチ」「外食」(共に5.6pt増)への抑制が目立つ 前年同月との比較では、比較できる項目はすべて減少しており、特に目立つのは「不要不急の買い物」(13.0pt減)と「外食」(10.5pt減)です。 収束後に控えると思う行動[予想]…全項目で[実態]より低く、差が大きいのは「旅行・レジャー」(-37.6pt)、「体験型エンタメ」(-31.0pt)など。

【行動の実施度】 「家の中でできる娯楽」(77.1%、9.2pt増)、「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(68.8%、7.5pt増)などが目立つ 前年同月比較では、増加は「人が密集しない屋外レジャー」(12.2pt増)、「家の環境整備」(11.7pt増)、減少は「家の中でできる娯楽」(9.8pt減)など。 収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より高いのは「人が密集しない屋外レジャー」(+9.8pt)、「投資や資産運用」(+8.8pt)など。逆に低いのは「家の中でできる娯楽」(-19.2pt)、「感染対策の徹底(マスク着用や手洗いなど)」(-10.4pt)となっています。

(単位：% / 差分：pt)

■ 生活意識・行動

【不安度】	[実態] 感じている不安				
	21年3月	21年4月	21年5月	前月差	前年同月差
行政の対応	74.9	76.1	82.3	+6.2	+1.2
経済の停滞	76.2	77.3	81.3	+4.0	-8.9
自分や家族の健康	67.4	68.3	71.9	+3.6	-2.0
海外の情勢	64.7	68.2	70.3	+2.1	-8.2
情報の不足や不確かさ	62.2	62.9	67.1	+4.2	-10.8
自分や家族の仕事・収入	59.5	59.1	60.7	+1.6	-3.2
人づきあいの変化	46.3	46.1	47.8	+1.7	+3.2

【行動の抑制度】	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年3月	21年4月	21年5月	前月差	前年同月差	21年3月	21年4月	21年5月	前月差	前年同月差	
旅行・レジャー	86.5	84.3	88.8	+4.5	-4.1	52.6	55.2	51.2	-4.0	---	-37.6
人とのボディタッチ (握手やハグなど)	81.9	80.1	85.7	+5.6	---	64.7	65.8	65.1	-0.7	---	-20.6
不要不急の外食	82.1	80.5	85.1	+4.6	-9.1	58.0	60.4	58.9	-1.5	---	-26.2
体験型エンタメ (ライブ・観劇・映画鑑賞など)	81.2	79.5	84.9	+5.4	-6.1	52.3	55.7	53.9	-1.8	---	-31.0
交友・交際	81.3	79.1	84.5	+5.4	-5.2	52.5	54.9	54.7	-0.2	---	-29.8
外食	76.7	74.9	80.5	+5.6	-10.5	50.2	53.4	51.4	-2.0	---	-29.1
不要不急の買い物	75.2	70.9	77.6	+6.7	-13.0	55.5	56.7	56.3	-0.4	---	-21.3

【行動の実施度】	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年3月	21年4月	21年5月	前月差	前年同月差	21年3月	21年4月	21年5月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底 (マスク着用や手洗いなど)	92.4	91.7	94.2	+2.5	-1.4	82.8	82.0	83.8	+1.8	---	-10.4
十分な運動・栄養・睡眠	75.9	72.7	77.5	+4.8	-2.0	82.3	79.7	83.8	+4.1	---	+6.3
家の中でできる娯楽	69.9	67.9	77.1	+9.2	-9.8	57.1	57.9	57.9	±0.0	---	-19.2
感染対策商品や日用品の備蓄	69.6	69.5	73.1	+3.6	+6.0	71.0	68.9	71.8	+2.9	---	-1.3
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	---	61.3	68.8	+7.5	---	---	60.6	61.1	+0.5	---	-7.7
キャッシュレスでの支払い	61.9	64.9	65.7	+0.8	---	64.8	67.1	69.1	+2.0	---	+3.4
感染対策を徹底している店や施設の利用	---	55.9	61.9	+6.0	---	---	57.7	62.1	+4.4	---	+0.2
自分で料理する	56.9	57.9	60.6	+2.7	-4.5	64.3	63.4	66.9	+3.5	---	+6.3
自家用車での移動	50.8	51.1	54.0	+2.9	-3.0	49.6	47.8	50.2	+2.4	---	-3.8
インターネット通販や出前の利用	46.3	45.7	52.1	+6.4	-7.4	42.8	45.7	47.0	+1.3	---	-5.1
スマホやパソコンなどでのゲーム	48.3	48.3	50.8	+2.5	-4.5	47.7	46.5	49.1	+2.6	---	-1.7
ストーリーミングサービスの利用 (動画や音楽など)	45.5	46.5	49.5	+3.0	-1.4	47.3	48.9	49.6	+0.7	---	+0.1
家の中でできる運動	45.5	44.2	49.1	+4.9	-6.8	51.0	48.8	52.8	+4.0	---	+3.7
人が密集しない屋外での運動	44.5	41.1	45.5	+4.4	+0.2	49.2	49.5	49.7	+0.2	---	+4.2
人が密集しない屋外でのレジャー	43.4	45.5	44.7	-0.8	+12.2	53.4	55.5	54.5	-1.0	---	+9.8
SNSの閲覧・投稿	41.2	39.3	41.9	+2.6	-0.4	49.7	45.7	48.1	+2.4	---	+6.2
時差通勤・時差通学	38.7	36.7	39.7	+3.0	-3.3	38.9	38.7	40.3	+1.6	---	+0.6
家の環境充実 (通信環境整備や家電購入など)	29.0	29.9	34.6	+4.7	+11.7	39.0	38.1	39.3	+1.2	---	+4.7
テレワーク ※有職者ベース	34.2	30.7	32.2	+1.5	-9.1	32.4	31.7	32.3	+0.6	---	+0.1
副業 (検討含む)	30.1	30.1	29.2	-0.9	+5.3	33.3	32.7	31.1	-1.6	---	+1.9
モノを手作りする (手芸、リフォーム、DIYなど)	26.4	25.9	28.7	+2.8	-2.5	33.2	33.2	33.9	+0.7	---	+5.2
普段より少し良いものを買う	26.7	27.9	27.1	-0.8	+6.2	32.9	31.9	33.1	+1.2	---	+6.0
投資や資産運用	26.9	25.7	26.2	+0.5	+8.5	37.8	34.8	35.0	+0.2	---	+8.8
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	22.5	24.8	25.0	+0.2	+5.9	28.6	29.7	29.3	-0.4	---	+4.3
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	23.3	25.3	22.9	-2.4	+3.4	29.5	29.3	27.8	-1.5	---	+4.9
就職・転職・起業 (検討含む)	24.8	23.5	22.7	-0.8	+4.6	28.0	27.1	24.5	-2.6	---	+1.8
お店・団体の支援	19.2	19.8	20.1	+0.3	+0.4	25.1	24.1	23.5	-0.6	---	+3.4
オンラインでの飲み会・食事会	18.4	19.6	19.5	-0.1	+0.9	19.5	19.7	17.4	-2.3	---	-2.1
オンライン学習	18.7	18.6	18.9	+0.3	±0.0	25.5	25.9	23.1	-2.8	---	+4.2
転居やリフォーム、複数拠点での生活 (検討含む)	---	16.2	16.3	+0.1	---	---	21.7	21.5	-0.2	---	+5.2

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]
2021年 5月 :1,062人
2021年 4月 :1,074人
2021年 3月 :1,075人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次にあげるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域	①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県) ②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県) ③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者	20~69歳の男女
対象者割付	調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数	合計1,500人

<2020年4月~2021年3月>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500

<2021年4月~>

(単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500

調査方法	インターネット調査
調査時期	2021年5月6日(木)~10日(月)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析	博報堂生活総合研究所
実施集計	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き

<2020年>

4月	7都道府県で「緊急事態宣言」が発令(5/6まで) 緊急事態宣言を全国に拡大
5月	39県で緊急事態宣言が解除 大阪・兵庫・京都で緊急事態宣言が解除 1都3県含む47都道府県すべてで解除
6月	東京で警戒情報「東京アラート」が発動
9月	東京でGoToトラベルの予約開始
10月	GoToイートの予約開始
11月	GoToトラベルの一時停止を首相表明 (感染拡大地域への予約) 東京や大阪を含め10都道府県でGoToイート中断
12月	東京でGoToトラベルが一時中止 全国でGoToトラベルが一時中止

<2021年>

1月	1都3県で緊急事態宣言が再発令、その後11都府県に拡大
2月	緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定
3月	大阪・兵庫・京都で緊急事態宣言が解除、3/21に1都3県で解除
4月(5日)	大阪・兵庫・宮城の3府県6市でまん延防止等重点措置初適用
<今回の調査時点までの詳細>	
4月12日	まん延防止等重点措置 東京、京都、沖縄に適用拡大(~5月11日予定)
4月20日	同措置 埼玉、千葉、神奈川、愛知に拡大(~5月11日予定)
4月25日	東京、大阪、兵庫、京都に、3度目の緊急事態宣言が発令 (~5月11日予定)
4月30日	重症者1,020人に。以降連日1,000人を超える
5月7日	4都府県の緊急事態宣言 5月末まで延長が決定 (愛知・福岡にも5月12日以降適用が決定) まん延防止等重点措置 神奈川、千葉、埼玉、愛媛、沖縄は継続、 北海道、岐阜、三重にも適用拡大。宮城は解除が決定

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>